



土井首 “ゆうこう” だより 6月号

○災害に備えましょう！

4月24日（水）、大浦警察署と長崎市は、情報共有のため、災害危険箇所と予想される場所について、自治会長から状況を伺いました。

災害に備えて、家の周辺の危険性、避難場所などについて確認しておきましょう。



左写真は、河川の氾濫が予想される鹿尾川沿い
ー帯。水害当時など、氾濫の様子を教えていた
だきました。
また、がけ崩れ予想箇所の草住町についても危
険箇所を確認しました。

～土砂災害ハザードマップはご家庭にありますか？～



土砂災害ハザードマップは、長崎市のホームページ、各地区の自治会や地域センターで入手できます。近頃は急な雨により地盤が緩み、土砂災害の危険性が高まる場合があります。日頃から、土砂災害の恐れのある場所を確認して、避難場所等への“早めの避難”ができるように、土砂災害ハザードマップを活用しましょう。

○『犯罪なく3ば運動』で感謝状が贈呈されました！



土井首地区自治連合会は、平成29年より2年間にわたって推進モデル地区と指定されていきました。そして、このたび犯罪防止に多大な貢献を行ったことで感謝状が贈呈されました。

大浦警察署、自治会、民生委員、児童委員の方々が各家庭に防犯の呼びかけを行い、住民同士が積極的に声かけをした結果、空き巣など前の年と比べて15件減少したそうです。

犯罪のない住みやすい地区を目指して、今後も住民同士のつながりを大事にしていきたいですね。

土井首地区自治連合会の松尾会長、ハイ、ポーズ！

○ペットを大事にしていますか？

長崎市では子猫の遺棄などが常態化し、強い危機感を感じています。地域センター、公園や空き地などに段ボール箱に入れられて置き去りにすることも遺棄であり犯罪です。

猫は不妊化し、室内で飼い、飼えなくなった場合には、飼い主の義務として新しく飼ってもらえる飼い主をさがしましょう。



土井首地域 C
文責：関